

(記載例)

麻薬受払報告書

令和 年 月 日

岩手県知事 様

麻薬業務所の所在地及び名称

盛岡市内丸〇〇番〇号 医療法人〇〇内科医院

麻薬免許の種類

麻薬施用者 第〇〇〇号

令和 年 分

名 称

岩手太郎

区分 品名	期初在庫数量			受 入			払 出			期末在庫数量			備 考 (注 8)
	単位	個数	総数量	単位	個数	総数量	単位	個数	総数量	単位	個数	総数量	
35mg オピスタン注	1×10A	2	11	1×10A	8	80	1×10A	7	70	1×10A	3	21	
弱オピスコ注				1×10A	2	18	1×10A	2	11	1×10A	1	7	受入の 18A は〇〇医院から譲受 (注 2)
オピアト注	1×10A	1	7			0	1×10A	1	7			0	払出の 7A は陳旧品につき麻薬廃棄届により廃棄 (注 3)
リン酸コデイン	5g	1	4	5g	1	5	5g	1	5	5g	1	4	払出の 5g は 10 倍散調整による (注 4)
リン酸コデイン 10 倍散	g			g		50	g		45	g		5	受入の 50g は 10 倍散調整による
あへんチンキ	25ml	1	15			0			0	25ml	1	14.5	期末在庫と期始在庫との差 0.5ml は自然減量による (注 5)
MS コンチン錠 10mg	100T	1	16	100T	2	101	100T	1	56	100T	1	61	1 錠再利用
同上						(30)							30 錠廃棄 (注 6)・(注 7)
MS コンチン錠 10mg				PTP200T	3	410	PTP200T	2	350	PTP200T	1	60	10 錠再利用
同上						(20)							20 錠廃棄
						(50)							外来患者持ち込み 10 錠使用、40 錠廃棄 (注 8)

前年 10.1 現在の数量 前年 10.1 からその年の 9.30 までの譲受数量 前年 10.1 からその年の 9.30 までの払出数量 その年の 9.30 現在の数量 (注 1)

注 1 受払報告書には、その業務所の前年の 10 月 1 日からその年の 9 月 30 日までの間の受払全部について記載すること。

注 2 他の診療施設から譲受し又は譲渡した麻薬は、それぞれ受入又は払出欄に記載すること。

注 3 陳旧品、調剤行為時の汚損品等で麻薬及び向精神薬取締法第 29 条の規定により保健所長に届出て当該職員の立会の下に廃棄した麻薬は、払出欄に記載しその旨を備考欄に記載すること。

注 4 原末及び倍散は、それぞれ別々に記載し、調製による場合はその旨備考欄に記載すること。

注 5 自然減量及び末、倍散の秤量誤差については、麻薬管理者（施用者）が他の職員の立会のもとに確認した旨の台帳の記載に基づき、その旨を備考欄に記載すること。

注 6 MS コンチン錠 10mg のバラ包装品(100T)と PTP 包装品(200T)は別品目としてそれぞれ別々に記載すること。

注 7 受入欄には、麻薬卸売業者等から譲り受けた麻薬の数量及び入院患者等から譲り受けた麻薬のうち再利用した数量の合計を記載し、帳簿の記載に基づき再利用の数量を備考欄に記載すること。なお、入院患者等から譲り受けた麻薬のうち廃棄した数量については、バラ包装品・PTP 包装品の下段にそれぞれ () 書きすること。

注 8 外来患者が持ち込んだ麻薬の数量の合計については、バラ包装品・PTP 包装品の下段にそれぞれ () 書きし、帳簿の記載に基づき使用した数量と廃棄した数量を備考欄にそれぞれ記載すること。

注 9 備考欄に記載が容易でない場合は、下方の空欄を利用又は別紙の添付などにより説明書きを行うこと。